【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成27年11月26日(2015.11.26)

【公表番号】特表2015-500678(P2015-500678A)
【公表日】平成27年1月8日(2015.1.8)
【年通号数】公開・登録公報2015-002
【出願番号】特願2014-541221(P2014-541221)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　17/04　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　17/04

【手続補正書】
【提出日】平成27年10月6日(2015.10.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
組織に穿刺するための鋭い遠位端を含む第１の穿刺要素と、
組織に穿刺するための鋭い遠位端を含む第２の穿刺要素とを備え、前記第１および第２の穿刺要素の遠位端は間隙によって互いに間隔が空けられた、縫合アセンブリであって、
前記第１および第２の穿刺要素のうち少なくとも一方において遠位方向および近位方向に摺動するように配置されるスペーサを備え、前記スペーサは、前記第１および第２の穿刺要素の一方を中心に回動するように配置され、前記スペーサは、前記第１および第２の穿刺要素の他方に対してスナップ接続する接続部を含むことを特徴とする、縫合アセンブリ。
【請求項２】
前記スペーサは、前記第１および第２の穿刺要素の両方において遠位方向および近位方向に摺動するように構成される、請求項１に記載の縫合アセンブリ。
【請求項３】
前記スペーサには、前記第１および第２の穿刺要素の一方が通過する第１の開口と、前記第１および第２の穿刺要素の他方が通過する第２の開口とが形成される、請求項２に記載の縫合アセンブリ。
【請求項４】
前記第１の開口は閉じられた外郭を有する、請求項３に記載の縫合アセンブリ。
【請求項５】
前記第２の開口は閉じられた外郭を有する、請求項３に記載の縫合アセンブリ。
【請求項６】
前記第２の開口の外郭は完全には閉じられていない、請求項３に記載の縫合アセンブリ。
【請求項７】
前記スペーサは、径方向に突出するフランジを含む、請求項１に記載の縫合アセンブリ。
【請求項８】
前記スペーサは、前記第１および第２の穿刺要素の少なくとも一方の遠位端を保護するための遠位方向に突出する保護部を含む、請求項１に記載の縫合アセンブリ。

【請求項９】
前記スペーサを近位位置から遠位位置へ向かわせる付勢装置をさらに備える、請求項１に記載の縫合アセンブリ。
【請求項１０】
前記第１の穿刺要素の一部に沿って配置される縫合糸をさらに備え、前記縫合糸は、前記第１の穿刺要素の遠位端において掴まれるように配置され、縫合アセンブリはさらに、前記第２の穿刺要素の遠位端に位置決めされる縫合掴み部を備える、請求項１に記載の縫合アセンブリ。
【手続補正２】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図３
【補正方法】変更
【補正の内容】

【図３】

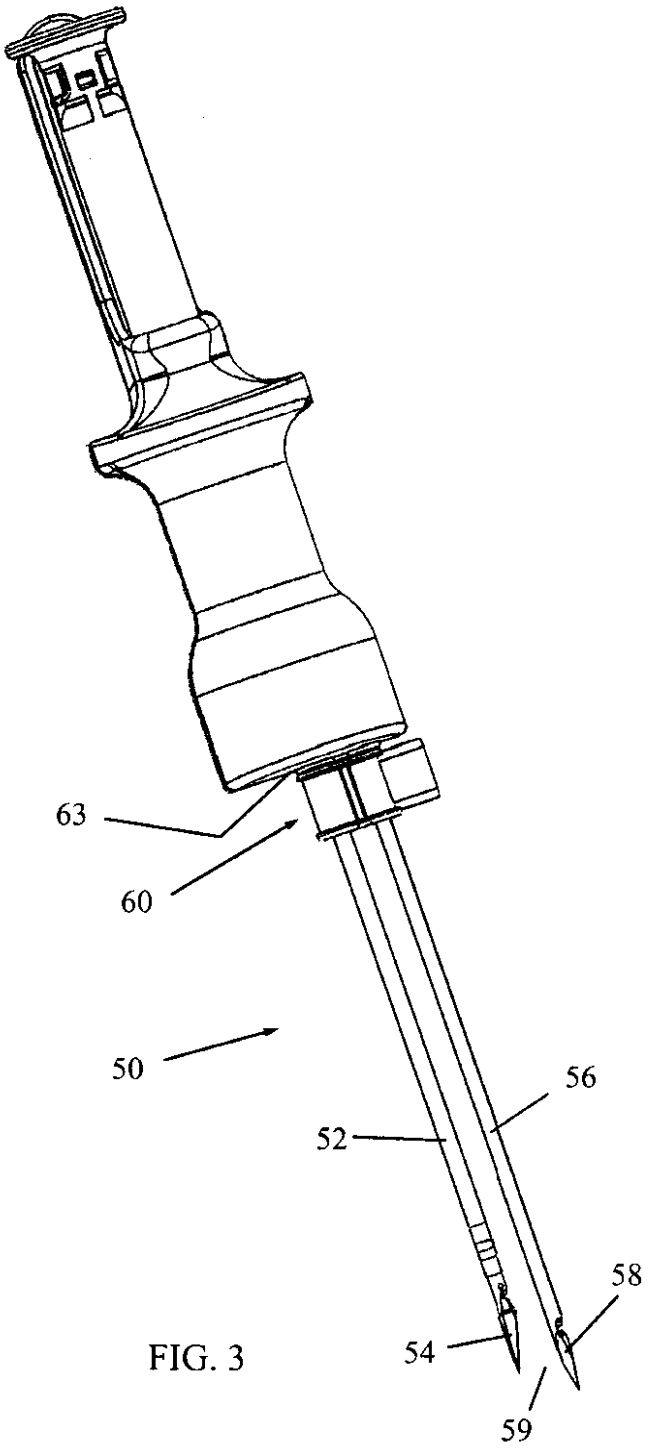


FIG. 3

【手続補正３】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図４
【補正方法】変更
【補正の内容】

【図４】

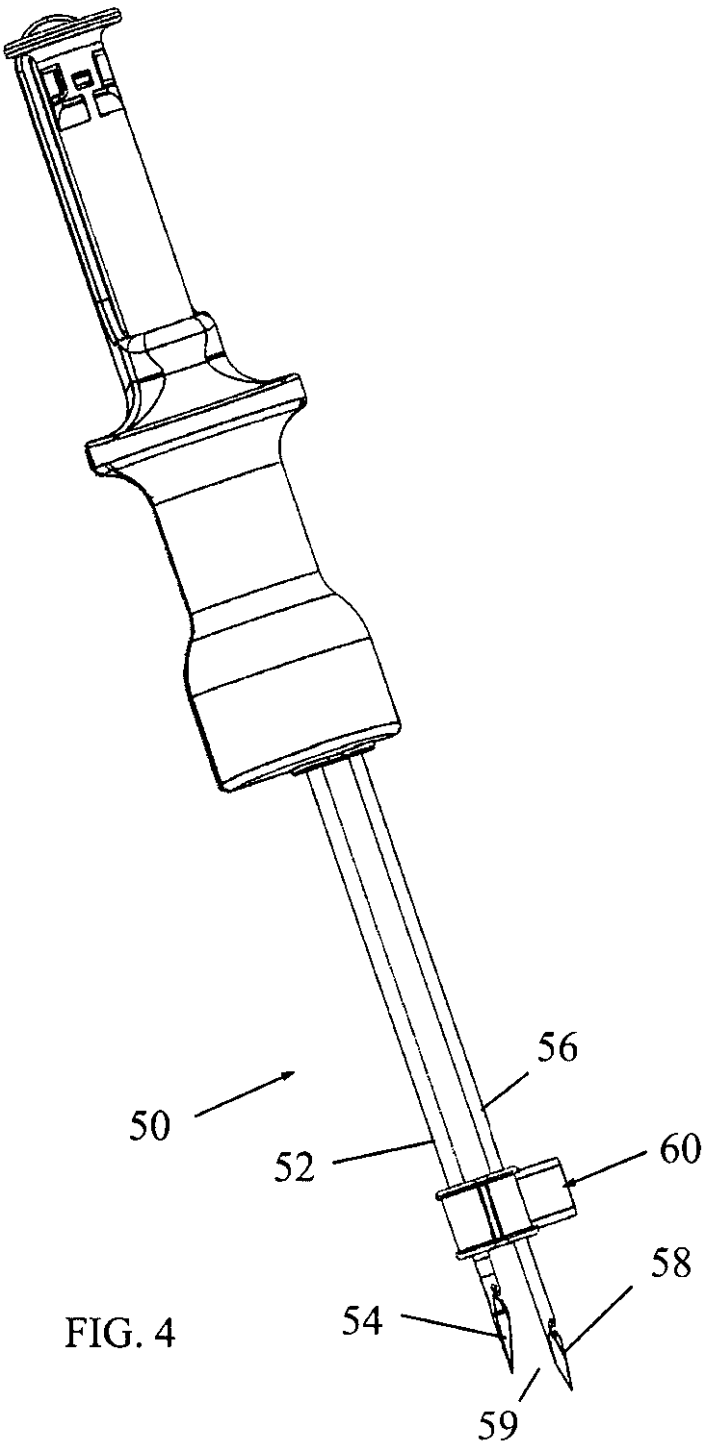


FIG. 4

【手続補正４】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図５
【補正方法】変更
【補正の内容】

【図５】

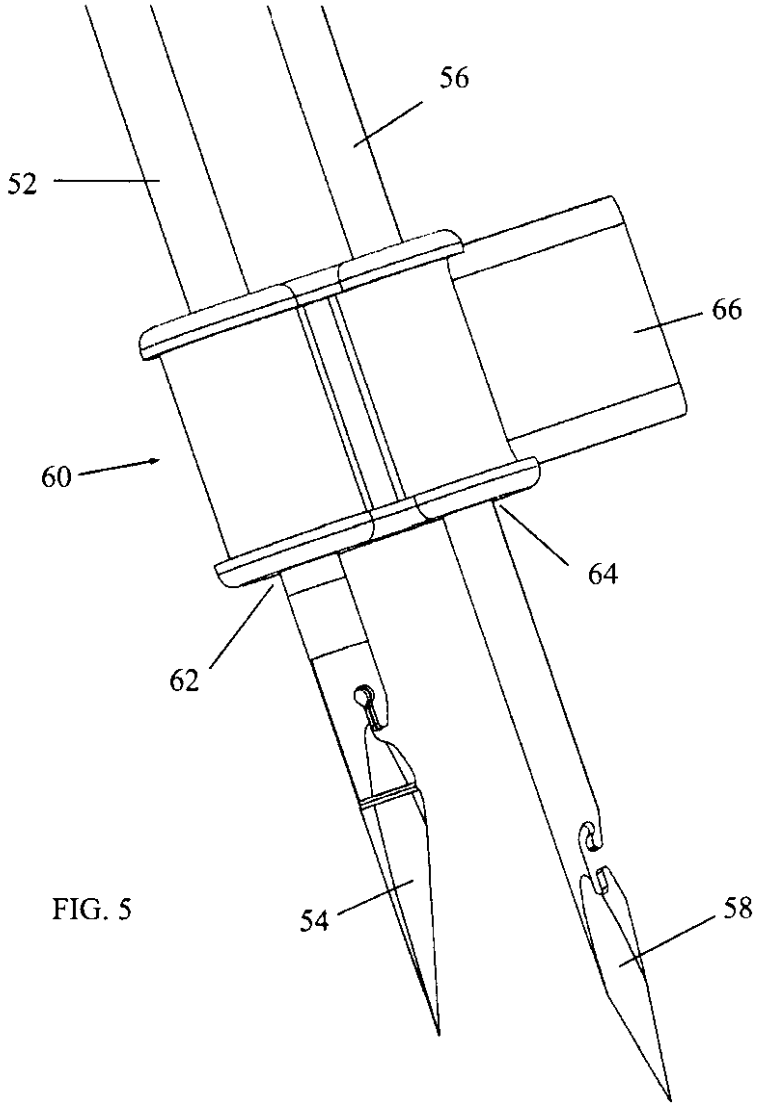


FIG. 5

【手続補正５】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図６
【補正方法】変更
【補正の内容】

【図６】

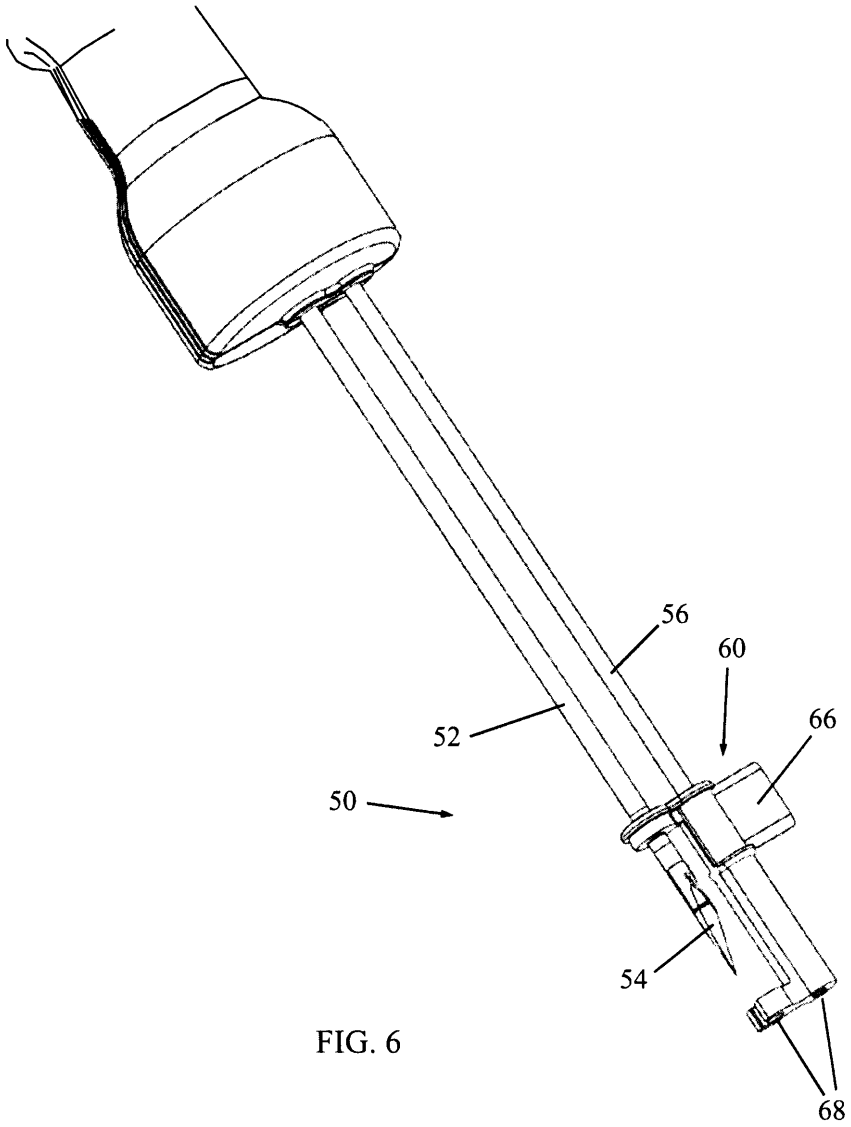


FIG. 6

【手続補正６】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図７
【補正方法】変更
【補正の内容】

【図７】

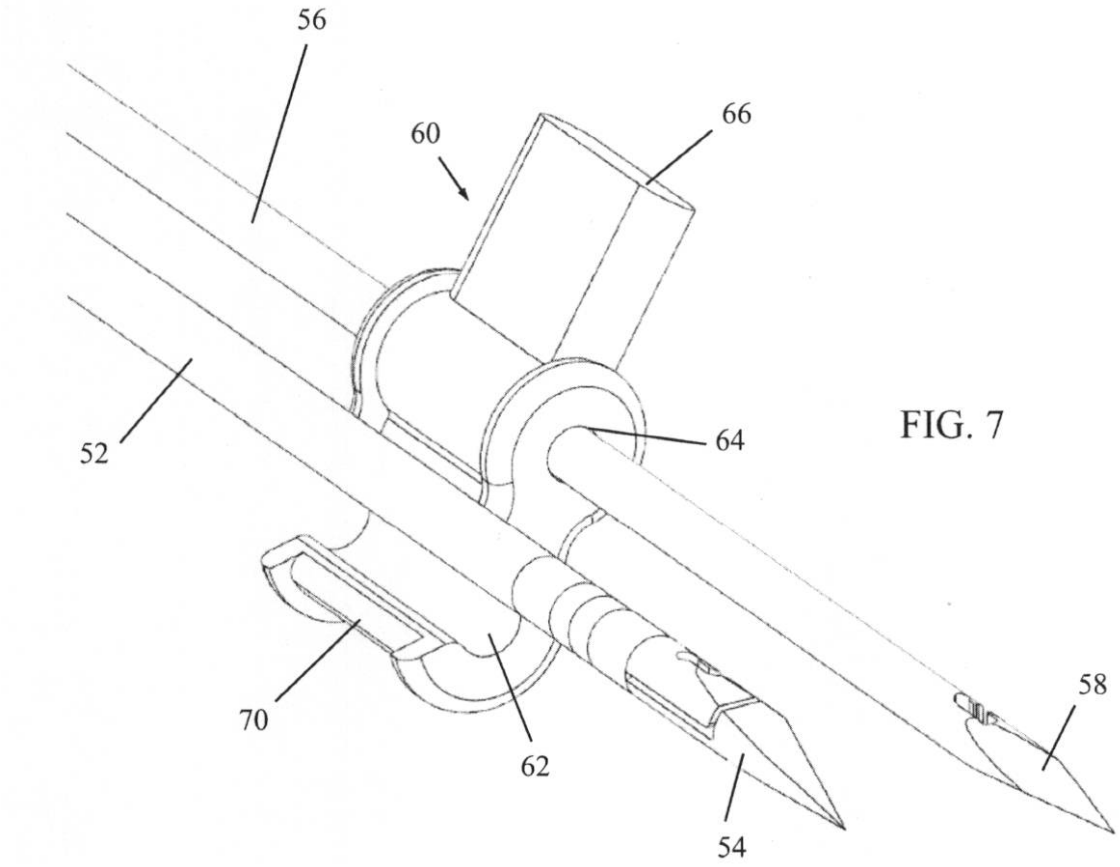


FIG. 7

【手続補正７】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図８
【補正方法】変更
【補正の内容】

【図８】

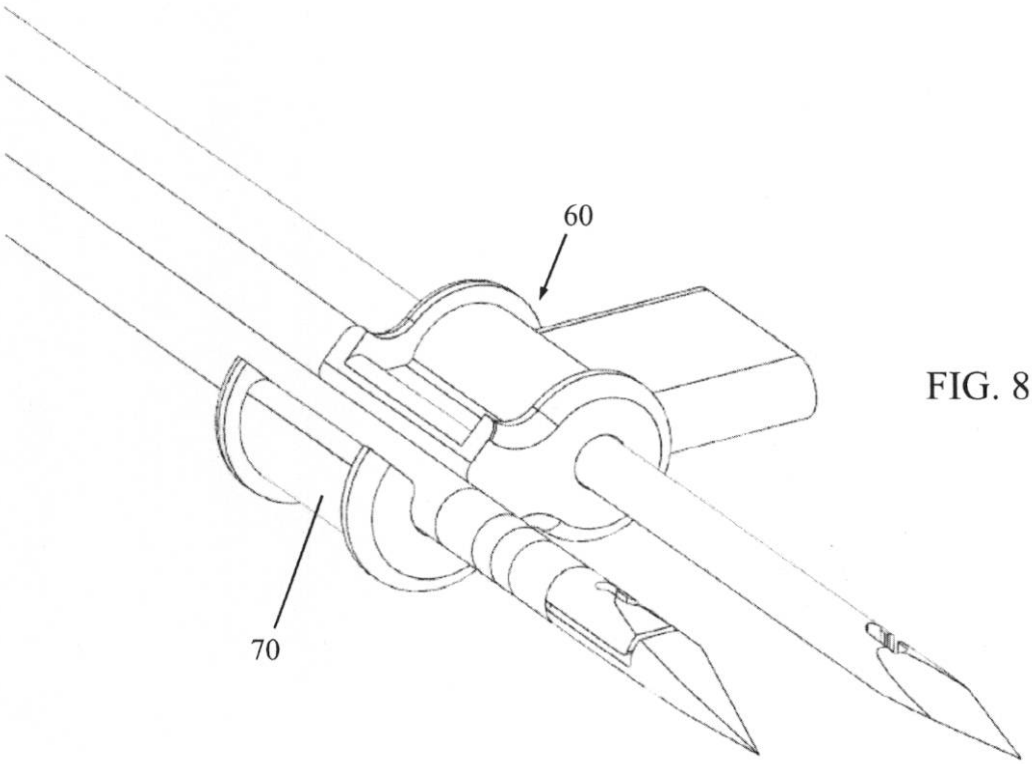


FIG. 8